

東京藝術大学生による任意団体“curealist”初の展示会『VANI』展
2k540 AKI-OKA ARTISAN にて11月10日(木)～23日(水)開催



■ JR 秋葉原～御徒町駅間高架下にある“日本のものづくり”がコンセプトの商業施設『2k540 AKI-OKA ARTISAN(ニーケーゴヨンマル アキオカ アルチザン)』(以降、2k540)のイベントスペースに、2022年11月10日(木)から23日(水)までの期間、『VANI』展が登場します。

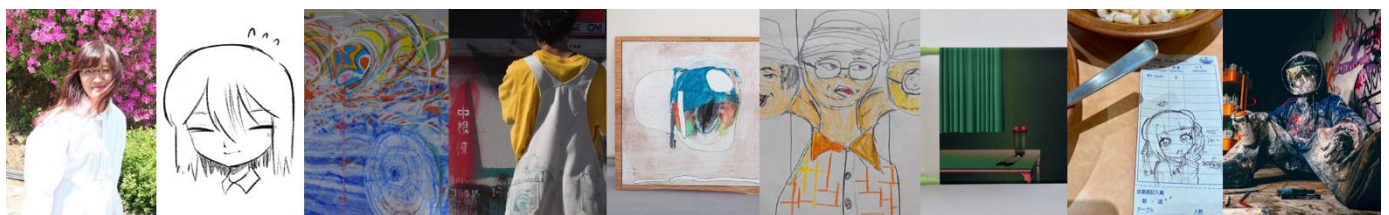
■ 『VANI』展は、東京藝術大学壁画第1研究室在学学生による任意団体 curealist (キュレアリスト) の初のプロジェクト「消える倉庫プロジェクト」の成果発表展です。本展では、コロナ禍をきっかけとして多くの「消える」を経験し、「我々は、消えていくものにどう対峙すべきか」を主題とした9名のアーティストによる作品が披露されます。会場では、予め取り壊しが決まっていた倉庫に作品を制作する取り組み「消える倉庫プロジェクト」の全貌や、それを受け9名のアーティストが新たに生み出した作品が展示されます。

「消える」ことを直に体感した参加アーティスト9名がどう感じ、どう対峙したのか、是非ご覧ください。

【イベント開催概要】 ※詳細は別紙参照

- ・企画名：『VANI』展
- ・主催：東京藝術大学壁画第1研究室在学学生による任意団体 curealist
- ・開催日時：2022年11月10日(木)～23日(水・祝) 11:00～19:00 (初日は18:00まで)
- ・開催場所：2k540 AKI-OKA ARTISAN (東京都台東区上野5-9) 内イベントスペース
- ・URL：<https://www.tumblr.com/curealist>
- ・参加アーティスト：

秋田菜々 / UL / ENDOE / 中根惇 / 堀田ゆうか / 前田康晴 / ミツムラアカリ / WACKOZAKI / WANI



〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社ジェイアール東日本都市開発
開発事業本部 開発一部 福田・岡室

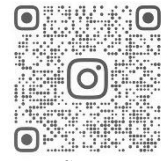
TEL : 03-5334-1060 MAIL : aki-oka@jrtdc.co.jp

【2k540 施設概要】

- ・施設名称 2k540 AKI-OKA ARTISAN (ニーケーゴーヨンマル アキオカアルチザン)
- ・所在地 東京都台東区上野 5-9 (JR 山手線 秋葉原～御徒町駅間高架下)
- ・営業時間 11:00～19:00 (一部飲食店舗を除く)
- ・定休日 水曜日 (祝日を除く)
- ・運営会社 株式会社ジェイアール東日本都市開発
- ・公式HP <https://www.jrtk.jp/2k540/>
- ・公式SNS Instagram [@official_2k540](https://www.instagram.com/official_2k540)

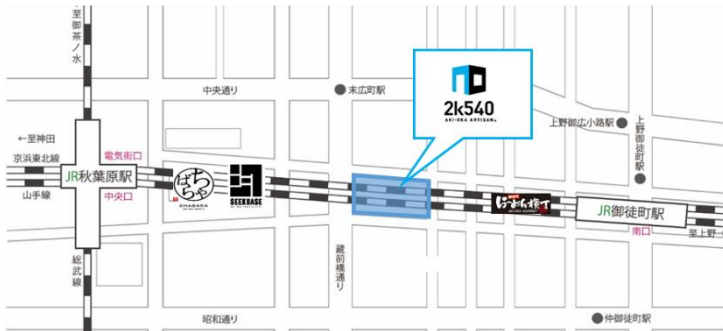


公式HP

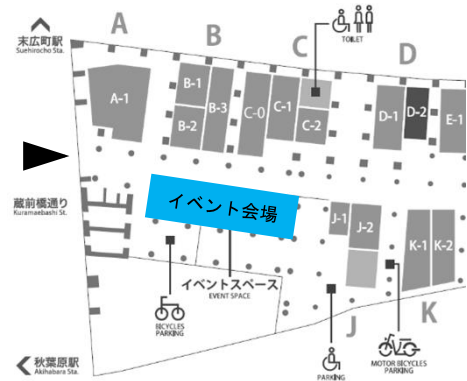


公式SNS

〈位置図〉



〈2k540 MAP〉



※一部店舗では営業時間が異なります。詳細は各店舗のHP等ご確認いただきますようお願いいたします。

※2k540 では、お客さまに安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行っています。

詳しくは[公式HP](https://www.jrtk.jp/2k540/)をご覧ください

Press Release

東京芸術大学 壁画第1研究室 任意団体 curealist

キュレーター ミツムラアカリ

2022.10.11

11/10^{THR} ~ 11/23^{WED} 11:00~19:00
(11/16のみ休み)

会場 2k540 AKI-OKA ARTISAN

ARTIST (50音順)
秋田菜々 / UL / ENDOE / 中根 惇 / 堀田ゆうか
前田 康晴 / ミツムラアカリ / WANI / WACKOZAKI

主催 | curealist (秋田菜々 中根 惇 WANI) 問い合わせ curealist/m1.2022.0712@gmail.com キュレーター | ミツムラアカリ
協賛 | 東京造形大学校友会 Re Arts Garden 協力 | 2k540 AKI-OKA ARTISAN 事前制作にご協力いただいた皆さま

2k540 AKI-OKA ARTISAN 秋葉原駅電気街口から徒歩6分
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目-9

VANI

展覧会概要 |

会期 | 2022年11月10日(木) - 23日(水)

会場 | 2k540 AKI-OKA ARTISAN 〒110-0005 東京都台東区上野5丁目9

開場時間 | 11:00~19:00

閉場日 | 11月16日(水)

アクセス | JR秋葉原駅電気街口より徒歩6分

主催 | 東京芸術大学 壁画第1研究室による任意団体curealist

キュレーション | ミツムラアカリ

協賛 | 東京造形大学校友会, Re Arts Garden

協力 | 2k540 AKI-OKA ARTISAN, 事前制作にご協力いただいた皆さま

お問い合わせ | curealist / m1.2022.0712@gmail.com

ホームページ | <https://www.tumblr.com/curealist>

ステートメント |

この度、東京芸術大学壁画研第1研究室による任意団体curealistは、イベントスペース2k540 AKI-OKA ARTISANにて「VANI」展を開催いたします。curealistは、東京芸術大学修士1年壁画第1研究室在籍の秋田菜々、中根惇、WANIの3名によって構成される団体です。

本展は、4月に発足した初のプロジェクト「消える倉庫プロジェクト」で「我々は、消えていくものにどう対峙すべきか」を主題に今日にかけて執り行われてきた活動の成果発表展であり、本展に向け招聘したミツムラアカリがキュレーションします。

参加アーティストは、秋田菜々、UL、ENDOE、中根惇、堀田ゆうか、前田康晴、ミツムラアカリ、WACKOZAKI、WANIの9名です。

「消える倉庫プロジェクト」は、今なお続くコロナ禍をきっかけとしてはじまりました。

この2年余り、我々はコロナ禍に際して多くの「消える」を経験し、世の中が激動するのを感じました。食事や移動をするごとにその痕跡は消毒によって消され、心待ちにしていたイベントは中止や延期を余儀なくされました。我々が「消える」に抗うことは如何にも難しいことでした。

しかし、消えると分かっているなら我々はそれにどう対峙するのでしょうか。

予め取り壊しが予定されていた倉庫の外壁に参加作家が作品を施した「消える倉庫プロジェクト」では、今現在倉庫の取り壊しが完了し、作品もろとも消えて失くなりました。

「VANI」展は、プロジェクトによって「消える」ことを直に体感した参加作家9名がどう感じ、どう対峙したのかを綴る展示会です。

本展が、コロナ禍によって閉塞的になった我々と社会との繋がりを解放し、世界を切り拓いていくきっかけとなれば幸いです。

また、本プロジェクトでは、展示会開催資金を集めるためにクラウドファンディングシステム「レディーフォー」を採用しています。

会期中も継続して行い、実際に会場に足を運んだ支援者が選んだ作品がリターンとして手元に残ります。鑑賞いただいた方々にも「消えていくものにどう対峙するか」というプロジェクトコンセプトを体感していただく試みです。

出展作家 |



秋田 菜々 | Nana Akita

1998年 神奈川県生まれ。

2022年 多摩美術大学絵画学部油画科卒業。

現在東京芸術大学美術研究科絵画専攻壁画研究分野
在籍。

アニメーションの手法を応用したインスタレーションを展開し、その作品は時間の流れと共に時に挑発的に多様な物語を形成する。

主な展示

「room a」(横浜市民ギャラリーオンライン展示、
神奈川県、2020)

「アッチ・向いて・ホイ」(サイレン601、神奈川県、
2021)

「Make'em Laugh! (奴らを笑わせろ!)」(サイレン601、
神奈川県、2022)

「厄場」(東京藝大絵画棟701 B.O.Pギャラリー、東京、
2022)

「WEAR ME」(ABAB UENO、東京、2022)



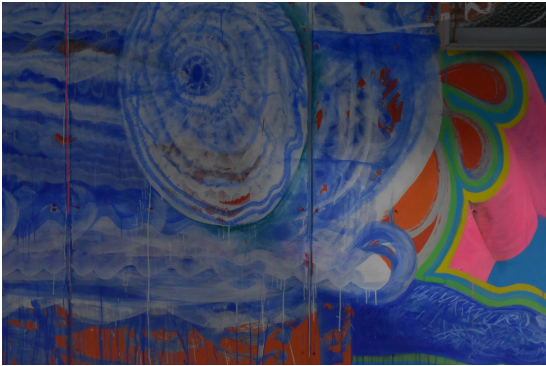
UL |

1998年 千葉県生まれ

2021年 東京造形大学美術学部絵画専攻卒業。

グラフィティの過程に内包される違法性を合法的な
フィールドで表現出来ないかと追求している。

現在はグラフィティのスタイルを用いて、イラスト
レーションやアパレルのデザイン等を制作。



ENDO E |

1998年 東京都生まれ。

2022年 多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。

僕は反復が嫌いだ。私は揺蕩う 波の反復の中で凧を見た。波の凹凸の作る形や光の跳ね返り一つ一つを親身に見て取れないことが波の反復を言わば消してしまった。そう感じた末、私は成長という繰り返しを折り合いに反復を認める事ができた。

私は日々描く色と形を反復させ自己矛盾を生み出し凧の反復を塗り替えている。

主な展示

「フラット三階建て」(プライベート、東京、2020)

「アッチ・向いて・ホイ」(サイレン 601、神奈川、2021)

「空の下のUMA」(相原中央公園、東京、2022)



中根 惇 | Jun Nakane

1999年静岡県生まれ。

2022年愛知県立芸術大学美術学部油画専攻卒業。

現在東京芸術大学美術研究科絵画専攻壁画研究分野在籍。

自分の部屋や路上の景色、スーパーマーケットのような身近な空間をモチーフにし、生活に馴染みのある普遍的なオブジェクトを利用したインスタレーション、彫刻、映像、版画作品を制作している。

主な展示

「複数の住所1/2エディション」(市民ギャラリー矢田、愛知,2021)

「TANPA」(the 5th floor,東京,2021)



堀田ゆうか | Yuka Hotta

1999年 愛知県出身。

2022年 東京藝術大学美術学部油画専攻 卒業。

現在東京芸術大学美術研究科絵画専攻版画研究分野在籍。

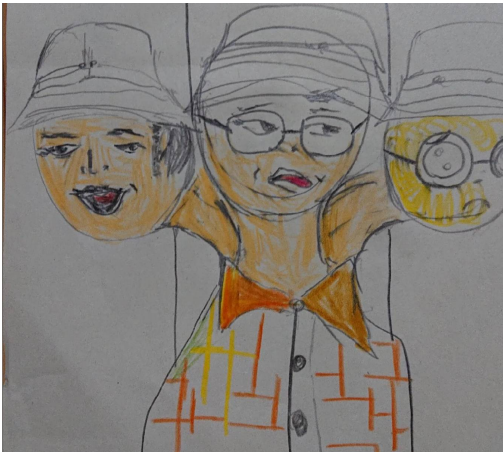
脆弱な痕跡、迎々しい身体などのキーワードをきっかけに絵画を迂回しながら、別の「立ち方」「あり方」を作る/繕う。

主な展示

「第23回グラフィック「1_WALL」展」(ガーデン・ガーデン、東京、2021)

「ストレンジャーによろしく」(芸宿103ギャラリー、金沢、2021)

「焼きつく線」(gallery TOWED、東京、2022)



前田康晴 | Yasuharu Maeda

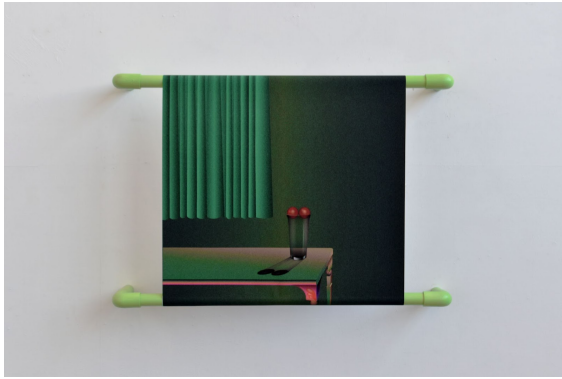
1999年 兵庫県生まれ。

2022年 東京造形大学絵画学科卒業。

スケートボードを使って日常に落ちている好きなモチーフに意味性を落としこんで制作する絵画表現や、スケートボードビデオや心霊スポット等日常に落ちている非日常を攻める制作をしている。

主な展示

「施美時間アートプログラム in 鶴林寺」(ガレリア punt、兵庫、2021)



ミツムラアカリ | Akari Mitsumura

1998年岐阜県生まれ。

2022年愛知県立芸術大学美術学部油画専攻卒業。

現在 東京芸術大学美術研究科絵画専攻油画研究分野在籍。

私が世界の隅々までを知るためには、いつだって関わり合ってきたたくさんものを参照することが大切である。本来の記憶と形が変わったりもする。

延々と続いていく私の色鮮やかな記憶の中で、時折過去を振り返って、新しい自分と、世界と、出逢うための制作をしている。

主な展示

「TAMPA」 (the 5th floor、東京、2021)

「ARTFUL CAMPUS」 (名古屋工業大学構内、愛知、2022)



WACKOZAKI |

経歴等は非公開。

SNS等で自分の作品が簡単に世界に公開出来るようになった反面、作品の価値が"いいね"の数で測られる様になり、大量の作品が高速で消費され忘れられる...

そんな時代に「一つの作品をミーム化し、人の記憶に残し続ける方法」を模索している。



WANI |

以前の経歴等は非公開。

現在東京芸術大学美術研究科絵画専攻壁画研究分野在籍。

室内の壁に絵画を制作したり、パフォーマンスをする。

主な展示

「パフォーマンスナイト」(CSLab、東京、2018)

「横向いてスキップしてハンドル切って八王子へ向かう」
(新宿眼科画廊、東京、2020)

アート仲介会社「gallery de galant」スタッフ兼作家として
所属 都内のシーシャ屋を中心にグループ展の企画(allery de
galant、東京、2020)

「WANI open atelier in TORIGOYA」(東京、2022)